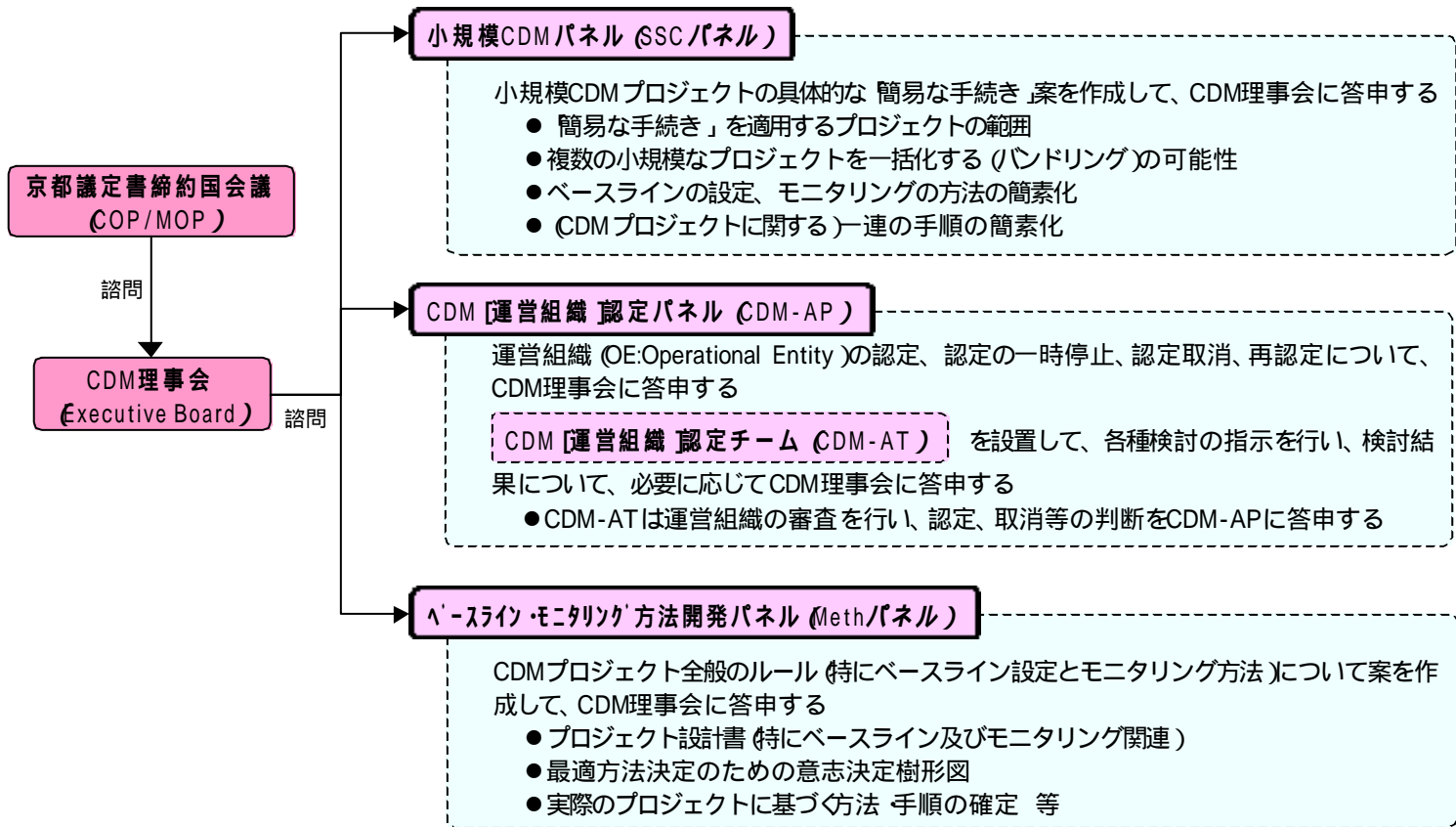


京都メカニズムの国際検討状況について

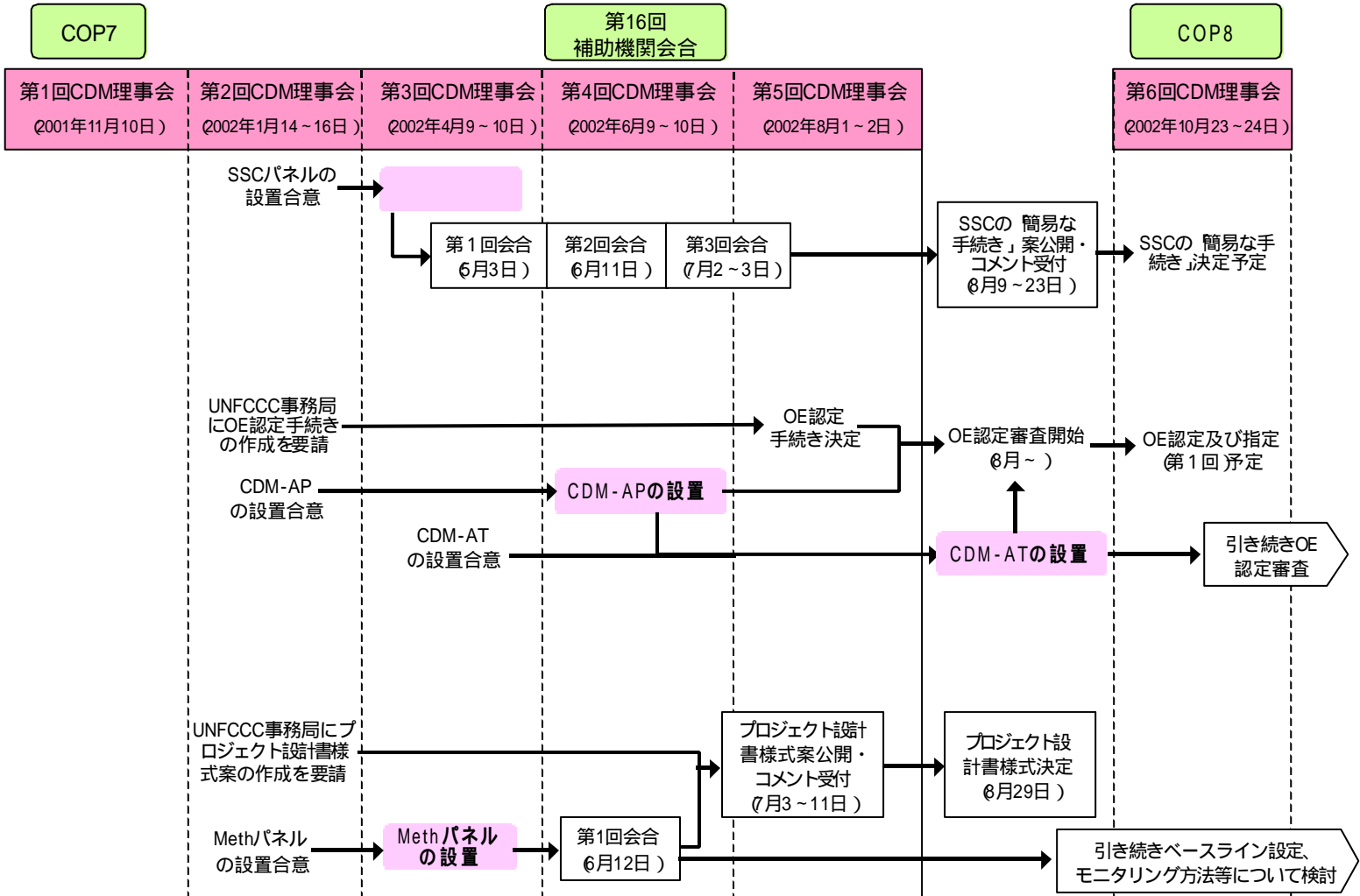
CDMの実施に向けた検討状況

CDM理事会は、マラケシュ・アコードによって規定されている決定すべき事項について、専門家からなる委員会(パネル)を設置して、各種の事項について諮問している

? 現時点までで設置されているパネル、その目的、検討課題等については下記参照
並行して、UNFCCC事務局に対し、指定運営組織の認定の詳細手順及びプロジェクト設計書様式案の作成について諮問している



CDMの実施に向けた検討状況



各パネルによる検討状況については、以下のようになっている (2002年8月23日時点)

小規模CDMパネル
(SSCパネル)

議長 副議長を含めて12人

- 日本からは財団法人電力中央研究所の杉山大志氏がメンバーとなっている
- これまでに3回の会合を開催済み

小規模CDMプロジェクトの具体的な「簡易な手続き」案について、第5回CDM理事会に答申済み

- CDM理事会はCOP8に報告し、最終決定予定
- 「簡易な手続き」案はインターネットで公開されており、8月9～23日にかけてコメントを受け付けている

- <http://unfccc.int/cdm/cdminput.html> 参照

CDM [運営組織 認定パネル
(CDM-AP)]

議長 副議長を含めて7人

? 日本からは財団法人日本適合性認定協会の大坪孝至氏がメンバーとなっている
第5回CDM理事会において、運営組織 (OE) の認定手続きガイドライン、申請書類様式等を決定済み

- <http://unfccc.int/cdm/doe.html> 参照
- 8月より運営組織 (OE) の募集及び認定手続きを開始
- COP8で1回目の運営組織 (OE) の認定及び指定が行われる予定

CDM [運営組織 認定チーム (CDM-AT)]

CDM-ATのメンバーについて公募中

- <http://unfccc.int/cdm/callexpat.htm> 参照

ベースライン・モニタリング方法開発パネル
(Methパネル)

議長 副議長を含めて12人

- これまでに1回の会合を開催済み

プロジェクト設計書様式案をインターネットで公開しコメントを受け付けた

- 提出されたコメントは <http://unfccc.int/cdm/cdminput.html> 参照

プロジェクト設計書様式は、8月29日に公開予定

引き続きCDMプロジェクト全般のルール (特にベースライン設定とモニタリング方法) について検討を続けていく

各パネルで検討され、現時点で決まっている内容(案を含む)は、以下のようになっている(2002年8月23日時点)

小規模CDMパネル(SSCパネル)関連

小規模CDMプロジェクトにおける「簡易な手続き」案として、例えば以下のようなことが示されている

- プロジェクトの種類毎のベースライン設定方法や排出削減量算定方法
 - 送電線から供給されている電力を削減する場合の、排出原単位の設定方法含む
- デバンドリング(大規模なプロジェクトをいくつかの小規模なプロジェクトに分けた上で小規模CDMプロジェクトとして申請する行為)の定義
- リークエージの取り扱い(基本的には考慮しなくてもよいこととなった)
- パブリック・コメントの取り扱い(通常のCDMプロジェクトと同様の取り扱いとなった) 他

CDM[指定運営組織 認定パネル(CDM-AP) 関連

運営組織(OE)の認定手続きガイドラインの項目は、以下のようになっている

- 概要、認定の適用範囲、認定・不定期査察・再認定・変更通知の手続き、附属書
- 運営組織(OE)としての認定を申請する際には、申請料が必要
- 認定に際しては、CDM認定チーム(CDM-AT)による机上審査及び現地評価(3人以上を派遣)が行われる
- 現地評価については400ドル/日・人※諸経費を申請者が負担することが必要

ベースライン・モニタリング方法開発パネル(Meth)パネル 関連

公開されたプロジェクト設計書様式案(7月3日付け)の項目は、以下のようになっている

- プロジェクト内容の概説(名称、参加者、目的、技術的記述、公的資金等)
- ベースラインの方法(適用した方法名、プロジェクトへの適用方法、温室効果ガス排出削減の内容、プロジェクトの境界等)
- プロジェクト活動期間/クレジット獲得期間
- モニタリングの方法及び計画(適用した方法名、選択理由、排出量(リークエージ分含む)データの収集・保管方法、データの品質管理・品質保証手順等)
- 温室効果ガス排出量の計算(排出量(リークエージ分含む)計算方法、ベースラインにおける排出量計算方法、排出削減量等)
- 環境への影響(環境影響分析、必要な場合には環境影響評価)
- 利害関係者のコメント(コメント受付手順の概要、コメント内容の概要、コメントへの対応方法)
- 附属書(プロジェクト参加者に関する情報、公的資金に関する情報、新たなベースライン方法、新たなモニタリング方法等)

登録簿 (レジストリー)等の検討状況

排出枠の管理に必要な、国別登録簿、CDM登録簿、取引ログの技術規格については、科学及び技術の助言に関する補助機関 (SBSTA)の議長の要請により、専門家による非公式協議において原案が作成され、6月13日付けで公開されている

- http://unfccc.int/sessions/workshop/020602/pap_chair.pdf 参照

公開した原案に対して8月16日まで意見受付を行っており、これらの意見を踏まえた上で第17回SBSTA (COP8と同時開催)で検討するための原案が作成される

排出枠識別番号の構成要素・技術規格 (案)

| | |
|------------------|---|
| 起源国 | ISO3166-1の国コード (アルファベット2桁) |
| 発行約束期間 | 2008～12年は01、以降連続番号 |
| 排出枠タイプ | AAUは1、RMUは2、AAUから転換されたERUは3、RMUから転換されたERUは4、CERは5 |
| 吸収源活動種類 | 数字2桁 (詳細は未定) |
| JI/CDMプロジェクト識別番号 | 数字4桁 |
| 固有番号 | 数字12桁 |

口座番号の構成要素・技術規格 (案)

| | |
|-------|----------------------------|
| 起源国 | ISO3166-1の国コード (アルファベット2桁) |
| 約束期間 | 2008～12年は01、以降連続番号 |
| 口座タイプ | 保有口座は1、取消口座は2、償却口座は3 |
| 固有番号 | 数字12桁 |

取引番号の構成要素・技術規格 (案)

| | |
|-------|----------------------------|
| 起源国 | ISO3166-1の国コード (アルファベット2桁) |
| 約束期間 | 2008～12年は01、以降連続番号 |
| 日付 | 標準的な日付フォーマット |
| 取引タイプ | 数字2桁 (詳細は未定) |
| 固有番号 | 数字12桁 |

国際取引における情報交換方法 (案)

【例：A国の排出枠をBに移転する場合】

| A国登録簿 | B国登録簿 | 取引ログ |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| B国登録簿に移転の事前照会 | | |
| | A国登録簿に事前照会に対する回答 | |
| 取引ログ、B国登録簿に移転の提案 | | |
| | | A国登録簿及びB国登録簿に提案の回答 |
| B国登録簿に取引の続行又は停止を指示 | | |
| | A国登録簿に取引の完了又は停止を回答 | |
| 取引ログに取引完了又は停止を確認 | 取引ログに取引完了又は停止を確認 | |